

2011年3月22日

塩釜油槽所の状況について

エクソンモービル・ジャパングループ
全従業員の皆さんへ

3月11日の東北関東大地震の被害から復旧するため、エクソンモービルの全社員があらゆる努力を行っていることを承知しております。皆さんの並々ならぬ努力に対して、深く感謝しております。

私は昨日、当社グループの塩釜油槽所を訪問しましたので、その時の様子をお知らせしたいと思います。

現場を訪問し、破壊的被害と被災者の方々を目の当たりにして、悲しみで心が揺り動かされました。代理店・特約店、従業員の方々も含め、愛する人を亡くされた方々の心痛には、想像に余りあるものがあります。そして、従業員の皆さんとともに一致団結し、総力をもって被災地の人々を支援したいとの気持ちを新たにいたしました。

車で長距離の旅をして、塩釜へ向かったのは、石油連盟各社の供給拠点として操業を開始した弊社グループおよび出光興産の塩釜油槽所の状況を視察するためです。現在では、海上からの製品受け入れも可能となり、震災後に初めて入港する内航船を迎えました。これにより、製油所から、塩釜経由で、被災地への製品配送がより容易になるものと思われまます。業界をあげた取り組みに寄与することができ、嬉しく思います。

その一方、利用可能なSS、およびタンクローリーは限定されており、これが懸念材料として残っております。各社は被災地への供給確保にさまざまな方策を講じていますが、インフラが整備され、操業が正常化するにはまだしばらく時間がかかると感じました。

塩釜地区の被害状況は、高台と低地とでは大きく異なっておりました。高台では津波の被害を受けず、地震による被害も限定的であるように見えました。一方、低地は津波により、壊滅的な被害を受けておりました。

昨日塩釜で撮影した写真を添付します。

復旧に向けた努力に、感謝しております。

以上

エクソンモービル・ジャパングループ代表
P. P. デューコム

壊滅的被害地域



塩釜油槽所

